

県政への反映状況（平成25年度「県政への提言」）

＜平成25年度において、「検討中」としたもの＞

● 三光荘の有効利用について 整理番号15

三光荘の有効利用として、従来の機能を縮小して維持しつつ、県内企業の独身寮にしてはどうか。

⇒ 県庁南庁舎建て替えにより、執務スペースが不足すること、岡山県自治研修所など岡山市内の未耐震施設の集約化を進めるため、庁舎に改修し、活用します。
（人事課・財産活用課）

● 県道拡幅工事について 整理番号16

井原福山港線と下御領井原線が交わる井原市大江町にある交差点で、井原福山港線側は拡幅用地を確保したまま工事が止まっているが、いつになったら舗装を行い、供用するのか。

撤去された案内標識の再設置は行うのか。

⇒ 拡幅工事が現在進行中であり、平成26年度内に供用開始できるよう努めております。また、撤去された案内標識は元の場所に再設置することを予定しています。
（道路整備課）

● 太陽熱温水器普及への助成について 整理番号60

安価で気軽に取り組める「太陽熱温水器」の普及と助成を提案したい。

⇒ 平成26年度新規事業として「晴れの国サンサンパワー活用推進事業」で、パンフレット作成、セミナー開催などにより、太陽熱温水器や省エネ機器の普及啓発に取り組むとともに、住宅への太陽熱温水器設置や、窓の断熱改修に対し補助を行うこととしました。

（新エネルギー・温暖化対策室）

● リンク用バナーの設置について 整理番号96

県公式ホームページにリンク用バナーを設置してはどうか。

⇒ 岡山県では、現在、本県の名前と良いイメージを全国に向けて浸透させるためのイメージアップ戦略を進めております。その戦略の一環として、ロゴやご提案のバナーの作成についても検討してまいります。

(公聴広報課)

● 井原市内の国道313号バイパスについて 整理番号103

井原市内の国道313号のバイパスの縁石上の反射板について、劣化が進み、輝度が弱くなっている。

井原市立高屋中学校付近は、通学路であり、道路照明を設置してはどうか。

バイパス部に、路線番号標識を設置してはどうか。

⇒ 道路の線形、交通量など現場の状況から判断し、反射板約20個を増設しました。

道路照明および標識については、広島県側のバイパスが平成27年度に開通予定であることから、完成後の現場状況に応じた対応を行います。

(道路整備課)

● イメージキャラクター、観光案内等について 整理番号110

熊本県のクマモンみたいに、桃やマスカットをイメージしたキャラクターをつくってはどうか。

観光名所が大人目線で作られたり、紹介されたりしやすいので、学生などの意見を取り入れて、家族連れの観光客の誘致をしてはどうか。

⇒ 新たなイメージキャラクターの作成については、本県の名前と良いイメージを全国に向けて浸透させるためのイメージアップ戦略の一環として、平成18年4月に県のマスコットに任命した「ももっち」と平成22年に加わった「うらっち」が、県民の認知度も高く、民間でも広く活用されています。このキャラクターがさらに多くの人に愛され、岡山のアピールにつながる活躍ができるよう工夫してまいります。

また、家族連れの観光客の誘致については、観光連盟の公式フェイスブック「おかやま穴場ネット」に、地元の学生が自信を持ってお勧めできる県内の観光スポットやグルメ情報などを、学生自らが撮影した写真とともに紹介するコーナーの「地元学生のイチオシ」に取り組みました。

(公聴広報課、観光課)

● ダムの放流について 整理番号116

河本ダム放流時の新見市井倉地区の警報サイレンは、ダムからの放流量が100m³/s

以上となり、放流された水の影響により井倉地区の川の水位が上昇する 30 分前に鳴らすとのことだが、7 月 15 日の放流では川が増水してから鳴っていた。サイレンを早めに鳴らし、少しでも早く川にいる人に放流情報を伝えるべきだ。

⇒ 新見市井倉地区の河川の状況を踏まえ、少しでも早くダム放流情報を伝え、より安全性を高めるため、ゲート放流開始時から放流警報のサイレンを鳴らすこととしました。

(河川課)

● 瀬戸大橋通行料金について 整理番号 1 2 4

2014 年からの瀬戸大橋通行料金新料金について、利用しやすい料金にしてほしい。瀬戸大橋通行料金を安くしたときに 瀬戸大橋へ車が増えるので、玉野市の利用者に必要な、宇野ー高松間の四国フェリーについて、検討が必要だ。

⇒ 県では、本四 3 橋の関係府縣市と連携し、利用しやすい料金となるよう、国に粘り強く働きかけてきた結果、平成 2 6 年 4 月 1 日から全国共通料金が導入され、料金水準が引き下げられました。

また、宇野高松間のフェリーについては、平成 2 6 年 4 月 1 日に決定された瀬戸大橋の新料金による影響を見極めながら、国や関係自治体、フェリー事業者と連携を図り、引き続き対応を検討していきます。

(監理課、県民生活交通課)

● ひきこもり地域支援センターの設置状況について 整理番号 1 3 1

保健所で行われている引きこもりに関する相談や支援について、県のホームページで見つけることが極めて困難だった。もっと分かりやすくしてほしい。

⇒ 平成 2 5 年 9 月から、健康推進課のホームページにおいて、ひきこもりに関する相談窓口や現在実施している事業などをまとめ、分かりやすく表示しました。

(保健福祉課)

● 道路整備について 整理番号 1 4 4

津山市高野本郷地内の県道田熊高野停車場線については、工業団地につながる幹線道路だが、緊急車両が入らない箇所がある。

⇒ 地元から要望のあった待避所を平成 2 5 年度に整備しました。

(道路整備課)

● 県内産品の県内での販売について 整理番号 165

岡山県商工会連合会の運営するショップ「サンさん岡山」が閉店することとなった。県内の産品を県内で販売する場所をぜひとも県の予算でお願いしたい。

⇒ 岡山県商工会連合会と県で県産品の販路開拓について検討を行う中で、「サンさん岡山」の継続運営の意向を示された民間企業へその運営を引き継ぎ、営業を継続しています。

(観光課)

● 犬猫の引き取りについて 整理番号 169

平成25年9月に動物の愛護及び管理に関する法律が改正された。犬猫の「定時定点収集」はやめるべきだ。

⇒ 平成25年9月以降は、法律の規定を厳格に運用しており、業者や飼い主からの安易な引き取りは行っていません。

動物センター以外での引き取りについては、平成26年度中の廃止を検討しています。

(生活衛生課)

● ふるさと納税について 整理番号 230

ふるさと納税が増えれば、県としても税収が増え、発展につながると思うが、県でも、ふるさと納税の納税者へ贈答品を贈ってはどうか。

⇒ 平成26年度から、本県ならではの魅力ある特産品等をお贈りすることとしており、本県の魅力や知名度の向上等に繋げるため、平成26年6月頃から、取り組み内容について専用ホームページ等で全国に向けたPRに取り組んでいく予定としています。

(税務課)

● ホームページ改訂について 整理番号 248

岡山に興味を持ってもホームページが県内向けになっていて、県外の人向けになっていない。

ホームページにより、もっと県外の人に向けて岡山県の魅力をPRすべきだ。

⇒ 現在の県のホームページは、県政を県民の皆さんに分かりやすくお伝えすることを主な目的としており、実際に防災・災害や県の各施策、イベントに関する情報等を求めて県内の方が数多く閲覧されているところです。一方、ご提案のとおり県外の人に向けた岡山県の魅力のPRも大変重要と考え、新たに主に県外の人に向けて、岡山県の魅力をわかりやすく発信するための専用サイトを立ち上げ、情報発信に努めております。
(公聴広報課)

● 定時定点回収について 整理番号 271

犬猫の「定時定点収集」はやめるべきだ。

⇒ 平成25年9月以降は、法律の規定を厳格に運用しており、業者や飼い主からの安易な引き取りは行っていません。
動物センター以外での引き取りについては、平成26年度中の廃止を検討しています。
(生活衛生課)

● 岡山県内の美術展について 整理番号 310

兵庫県内の市の展覧会は、他の府県からも応募できる公募形式であるが、岡山県は閉鎖的である。県在住者の応募に限っている県展とは別に、他府県公募の展覧会の開催を希望する。

⇒ 現行の県展は、県在住者を対象とした公募展ですが、応募者数の増加に繋がるよう、応募資格を県内在勤・在学まで拡大する方向で県展運営委員会に提案する予定です。
(文化振興課)

● 大河ドラマトークショーについて 整理番号 326

先般、福岡県豊前市で大河ドラマ「軍師官兵衛」スペシャルトークショーが俳優の陣内孝則氏(宇喜多直家役)と「軍師官兵衛」政策統括中村高史氏を迎えて行われた。「軍師官兵衛」前半のハイライト、高松城の水攻めを迎えるにあたり、岡山でもこのようなイベントを実施すると楽しいと思うが。
知事とのスペシャルトークショーも拝見したい。

⇒ 九州方面との連携について、5～6月の2ヶ月、西鉄グランドホテルなどにおいて、岡山の食材による「岡山・福岡フェア」を開催する予定であり、5月12日に

は、瀬戸内市とも連携して、官兵衛ゆかりの地としてPR活動を行うこととしています。

(観光課)

● 犬猫の殺処分廃止について 整理番号354

野良猫の不妊手術の支援をお願いします。

⇒ 野良猫対策については、関係者等から情報収集するとともに、具体的な取り組みについて、今後、検討会などで協議します。

(生活衛生課)

● ふるさと納税について 整理番号364

岡山県にゆかりのない人にも岡山県のことを知ってもらい、寄付してみたいと思えるような魅力的な県になるよう、ふるさと納税制度をもっと積極的に活用してはどうか。

⇒ 平成26年度から、本県ならではの魅力ある特産品等をお贈りすることとしており、本県の魅力や知名度の向上等に繋げるため、平成26年6月頃から、取り組み内容について専用ホームページ等で全国に向けたPRに取り組んでいく予定としています。

(税務課)

<平成24年度において、「検討中」としたもの>

● 岡山県小児医療費公費負担制度の受給者証について 整理番号138

岡山県小児医療費公費負担制度の受給者証は現在紙で配布されているが、カード化を推進してほしい。

⇒ 平成24年度対応状況

受給者証の形式の変更については、費用負担等の課題もあるため、引き続き、市町村や関係団体等の意見を伺いながら、検討していきます。

⇒ 平成25年度対応状況

小児医療費公費負担制度については、市町村が事業主体として受給者証を発行しているところであるが、市町村からカード化に関する要望は無く、現在のところカ

ード化への変更は考えておりません。
(健康推進課)

● 自動車取得税・自動車税減免について 整理番号 254

精神障害者保健福祉手帳 1 級の所持者の生計同一者が運転する場合は、本人運転と比べて使用目的の条件が厳しすぎるので、他府県同様に、生計同一者が障害者の日常生活のために運転する場合も減免を認めてほしい。

⇒ 平成 24 年度対応状況

ご要望の点については、精神障害者だけでなく身体障害者、知的障害者及び戦傷病者を含めた身体障害者等が所有する自動車に対する課税免除制度全体の見直しの中で検討していくこととしています。

今年度は、他都道府県の状況調査や関係各所の意見聴取を行うなど、具体的に検討を進めていく予定です。

⇒ 平成 25 年度対応状況

平成 25 年度に実施した他県の状況調査等の結果を踏まえ、ご提言の運転者の条件のほか、使用目的や頻度、免除の方法など免除制度に関する様々な課題を整理し、制度の改善に向け検討を進めています。

(税務課)

● 首都圏アンテナショップについて 整理番号 298

中国 5 県の中で、岡山だけがアンテナショップが無い。検討をお願いする。

⇒ 平成 24 年度対応状況

平成 25 年度から調査予算の措置を行うなど設置に向けた検討を進めています。

平成 25 年度予算額 首都圏アンテナショップ調査事業 (新規事業) 19,943 千円

⇒ 平成 25 年度対応状況

平成 26 年度、東京都港区新橋にアンテナショップを開設することとしました。

(マーケティング推進室)

● おかやま全県統合型GISについて 整理番号 344

「おかやま全県統合型GIS」内の「案内地図」の道路種別の色分けについて、「道路交差・路線番号標識」に合わせ、主要地方道を緑色に変えたほうがわかりやすいのではないかと。

また、このシステム内の文化財情報に、旧街道の所在や経路がわかる地図を公開することはできないか。県教育委員会が過去に調査を行った『歴史の道調査報告書』というものがあるが、せっかく調査をしたのに、旧街道の所在や経路について広く知れ渡るようにしていないのは、もったいないと思う。

⇒ 平成24年度対応状況

「案内地図」の主要地方道の配色について、ご提言を受け、地図作成業者に検討を依頼したが、地図上で表現している公園・緑地といった同系色とそれに接する道路との区別が難しいといった視覚的な配慮から現在の配色としており、要望に添うことは難しいとのことでした。

この地図は、コストやメンテナンス性などから県独自の地図データではなく、民間企業の既製品を利用しているため、県で自由に変更することは出来ない場合があることをご理解ください。

(情報政策課)

⇒ 平成24年度対応状況

旧街道をホームページ等に掲載することについては、引き続き検討を進めます。

⇒ 平成25年度対応状況

文化財課のホームページに『歴史の道調査報告書』の地図部分をPDFファイルで公開しました。

<http://www.pref.okayama.jp/site/16/338411.html>

(教育委員会)

<平成23年度において、「検討中」としたもの>

● 高梁地域の案内標識について 整理番号70

高梁市成羽町に観光で訪れたが、吹屋バイパスが全面開通となって1年が経過しているにもかかわらず、ふるさと農道と交わる交差点には、工事用の立て看板に行先を記した案内板があるだけだった。

また、ふるさと農道から県道宇治鉄砲町線までの高梁市街に至る経路上には、観光地や高梁市街への案内標識が非常に少なく、分かりづらい。

高梁市の吹屋地区から宇治地区、そして松原地区にかけては、非常にわかりづらい道路網となっているだけに、県道を管理する県と、県道以外の道路を管理する高梁市とがうまく連携して案内標識を整備するようしてもらいたい。

⇒ 平成23年度対応状況

吹屋バイパスとふるさと農道が交わる交差点の案内標識については、現在、県と市において旧道を含めた地域一帯の整備計画を進めていることから、これに伴い案内標識も順次、整備を進めます。

また、宇治鉄砲町線をはじめとした管内の案内標識については、観光地案内の観点からも県と市が今後とも情報共有に努め、適宜その必要性に応じ整備します。

⇒ 平成24年度対応状況

平成24年度は当該地区において6箇所案内標識の新設・更新を行いました。

なお、吹屋地区は、伝統的建造物群保存地区であることから、県市が協力して道路整備を進めており、平成26年度末の完成に併せ、関係の案内標識を整備する予定です。

⇒ 平成25年度対応状況

吹屋地区は、伝統的建造物群保存地区であることから、県市が協力して道路整備を進めており、平成26年度中の旧道部分（吹屋ふるさと村）の整備完了に併せ、市が関係の案内標識を整備する予定としております。

（道路整備課）

● 県道倉敷西環状線酒津地内から片島町地内までのガードレールについて
整理番号323

県道倉敷西環状線の酒津地内から片島町地内までの区間のガードレールの端部が半円でないものがある。半円形の端部にしたほうがよいのではないか。

⇒ 平成23年度対応状況

本年度はガードレール延長176mを更新し、他にも端部を26箇所取替えしました。

今後も順次更新等を実施する予定です。

⇒ 平成24年度対応状況

現在未施工箇所が4箇所ありますが、平成25年度に施工します。（平成25年度完了予定）

⇒ 平成25年度対応状況

未施行箇所4箇所全てについて、対策完了しました。

（道路整備課）

＜平成22年度において、「検討中」としたもの＞

● 井原市内の国道313号バイパスについて 整理番号112

(問)

井原市内の国道313号のバイパスについて、縁石部分への反射材を順次設置し、夜間照明設備を整備してはどうか。

⇒ 平成22年度対応状況

平成22年7月に縁石上の反射板を増設済みです。夜間照明については、バイパスの広島県側開通後の道路利用状況を踏まえ検討することとしています。

⇒ 平成23年度対応状況

夜間照明については、バイパスの広島県側開通後の道路利用状況を踏まえ検討することとしていますが、現在、広島県側の開通の目途がたっていない状況です。

⇒ 平成24年度対応状況

夜間照明については、広島県側のバイパス開通後の道路利用状況を踏まえて検討することとしていましたが、現在、広島県側の開通の目途が立っていない状況であり、交通量も前回調査時点より減少傾向にあるため、今後の利用状況を注視しながら検討します。

⇒ 平成25年度対応状況

車両の通行による欠損箇所について、反射材20箇所程度の再設置をしました。夜間照明については、広島県側のバイパスが平成27年度に開通予定であることから、完成後の現場状況に応じた対応を行います。

(道路整備課)